

電動アシスト自転車用バッテリーパックの一部製品 におけるリコールについて

- パナソニック株式会社から電動アシスト自転車用バッテリーパックの一部製品におけるリコールについて、別添のとおり情報提供を受けましたのでお知らせします。

【事故原因】

平成 25 年 10 月 2 日～4 日に新設備の立ち上げ試験時に発生した金属異物がバッテリーパックの量産工程に混入し、振動または衝撃により、電池セルの外装絶縁部の破損が進行し絶縁性を失ってしまうと、短絡（ショート）し電池セルが発熱し、発火に至る可能性があるもの。

【対策内容】

バッテリーパックの交換。

【当該製品のリコールに関する問い合わせ先】

●一般消費者用 パナソニック株式会社

電話番号：0120-870-355

URL：<http://panasonic.co.jp/ap/s/eb/>

※ 事業者のリコール情報としてホームページ等で公表されておりますので、適時ご活用ください。

【参考情報】

(経済産業省リコール情報)

URL：http://www.meti.go.jp/product_safety/recall/file/160926-1.html

(消費者庁リコール情報)

URL：<http://www.recall.go.jp/article/detail.php?rci=00000016302>

2016年9月26日
パナソニック サイクルテック株式会社

電動アシスト自転車用バッテリーパックの新たなリコール社告実施について

パナソニック サイクルテック株式会社は、電動アシスト自転車用に2013年10月2日から2013年10月4日に製造されたバッテリーパックについて事故防止のため無料交換を行います。対象のバッテリーパックには電動アシスト自転車の一部機種に搭載したものと、交換用に販売したものがありません。また、今回の無料交換は2015年7月27日発表の「リコール社告」とは対象が異なります。

当該バッテリーパックの過熱による焼損事故が2016年6月に1件、7月に1件発生しました。調査の結果、上記2件の事故品はいずれも2013年10月3日に製造したバッテリーパックであることが判明しました。このことから、2013年10月3日を含む過去のバッテリーパック製造工程の記録を調査したところ、2013年10月2日から10月4日に製造したバッテリーパック(電動アシスト自転車に搭載、および交換用として販売)に、製造上の不具合があり、発煙・発火に至る可能性があることが判明しました。

パナソニック サイクルテック株式会社は今後の事故防止のために2015年7月のリコール社告に加え、今回新たにリコール社告を実施します。対象製品をご使用中のお客様にはバッテリーパックを自転車本体から取り外し、充電はせずに周辺に可燃物がない場所に保管していただき、当社にご連絡いただきますよう、お願いいたします。

お客様には大変なご迷惑・ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 対象製品および個数

対象バッテリーパック品番	バッテリーパック容量	対象製造期間*1	対象個数
NKY449B02	8.9Ah	2013年10月2日～ 2013年10月4日	2,788個*2
NKY450B02			
NKY451B02	13.2Ah		
NKY486B02	8.9Ah		
NKY487B02			
NKY488B02			

*1: 交換の対象となるバッテリーパックの製造期間

*2: 電動アシスト自転車に搭載したバッテリーパックおよび交換用に販売したバッテリーパックの総数
(内訳 自転車搭載数: 2,088個、交換用: 700個)

2. 事故の概要

No	バッテリーパック品番	発生日	発生場所	被害状況	報告先
1	NKY450B02	2016年 6月19日	東京都	バッテリーパックと 充電器 および周辺を焼損	消費者庁 経済産業省
2	NKY451B02	2016年 7月7日	広島県	バッテリーパック焼 損と充電器および 周辺の一部に焦げ	NITE*

*: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

3. 社告に至る経緯

- ① 2016年6月19日に東京都のお客様宅で電動アシスト自転車のバッテリーパックを充電していたところ、バッテリーパックと充電器および周辺が焼損しました。当社にて調査しましたがバッテリーパック内部が焼損していたため、現品からは原因を特定することはできませんでした。
- ② また7月7日広島県のお客様宅で、2日前に充電したバッテリーパックを保管していたところ、バッテリーパックが焼損し、充電器および周辺の一部が焦げましたが、充電器の機能には問題がありませんでした。当社にて調査しましたがバッテリーパック内部が焼損していたため、現品からは原因を特定することはできませんでした。
- ③ 上記バッテリーパックの焼損が激しく、製造日の判別が困難でしたが、バッテリーパック内の情報の復元作業等を行い、ともに2013年10月3日の製造と特定しました。
- ④ 上記製造日を含め当該モデル生産開始から現在までの電池セルおよびバッテリーパック製造ラインや周辺エリアの記録類を調査したところ、2013年10月2日から4日にバッテリーパック製造工程周辺に新設された設備の立ち上げ試験において金属異物が発生していたことが判明し、それがバッテリーパックに混入した可能性があると推定しました。
- ⑤ バッテリーパック内へ金属異物が混入し、その後、振動または衝撃により、電池セルの外装絶縁部の破損が進行し絶縁性を失ってしまうと、短絡(ショート)し電池セルが発熱し、発火に至る可能性があることが判明しました。
- ⑥ 上記事故発生メカニズムを2016年9月に確認しました。
- ⑦ 今後の事故発生を防止するため、リコール社告の実施を決定しました。

4. 原因

2013年10月2日～4日に新設備の立ち上げ試験時に発生した金属異物がバッテリーパックの量産工程に混入したためと判断しております。

5. お客様への対応

- (1) 対象バッテリーパックをお持ちのお客様には、当社にて無料で交換いたします。
- (2) 明日9月27日、新聞紙上で、リコール社告を行います。
- (3) 当社ホームページでもお知らせします。

URL: <http://panasonic.co.jp/ap/s/eb/>

(4) 本日から、フリーダイヤルにてお問い合わせをお受けします。

フリーダイヤル **0120-870-355**

受付: 9時~21時 2016年10月25日まで毎日

9時~17時 2016年10月26日以降、土・日・祝日を除く

上記ホームページでも受付しております。

電動アシスト自転車用 バッテリーパック品番とロット記号の確認方法

① バッテリーパック品番を確認してください

品番 NKY450B02
△危険
 ■当社電動アシスト自転車専用の回生充電対応電池

② ロット記号(左から4桁)を確認してください

RJ01***** min.***Wh
 MADE IN JAPAN

ご注意: バッテリーパック品番とロット記号をご確認いただき、両方とも下記の一覧に該当する場合は対象品となります

対象バッテリーパック品番とロット記号

バッテリーパック品番	ロット記号 (4桁)	バッテリーパック品番	ロット記号 (4桁)
NKY449B02	RJ01	NKY486B02	RJ01~03
NKY450B02	RJ01~03	NKY487B02	RJ01~03
NKY451B02	RI27 RI30	NKY488B02	RJ01~03

- 電動アシスト自転車の機種品番から対象バッテリーパックの特定はできません。
 (対象バッテリーパックは当社が2005年以降に販売した大半の電動アシスト自転車に装着可能です。)

以上



お問い合わせ先
 パナソニック株式会社
 お客様相談センター
 〒100-8555 東京都千代田区千代田1-4-1
 電話: 0120-870-355

0120-870-355

http://panasonic.co.jp/ap/s/eb/